

令和6年度

事業報告書

社会福祉法人秋葉会

目 次

I	法人事業総括	1
II	事業成果の内容	1
III	法人設置経営者	2
IV	法人事業の沿革	2
V	法人施設ならびに事業所の概要	4
VI	理事会および評議員会	5
	1. 理事・評議員・監事	
	(1) 理事	
	(2) 評議員	
	(3) 監事	
	2. 理事会	
	3. 評議員会	
	4. 監査実施状況	
VII.	法人事業報告	6
	1. 実地指導等報告	
	2. 職員の状況	
	(1) 八戸地域福祉事業部門	
	(2) 上北地域福祉事業部門	
VIII.	事業所報告	9
	1. 八戸地域福祉事業部門	
	(1) 障がい者支援施設 八太郎山療護園	
	(2) 児童デイサービスセンター希望ヶ丘	
	(3) 居宅介護支援・相談支援事業所 八太郎山の家そうだん室	
	(4) 八太郎山の家 ヘルパーステーション	
	(5) 八太郎山の家 訪問看護ステーション	
	(6) 身体障害者向け住宅・有料老人ホーム 八太郎山の家	
	(7) グループホーム桔梗野の家	
	(8) 障がい者デイサービス 根城の家	
	(9) 障がい者デイサービス リアンジュ	
	(10) 多機能型通所支援事業所 リアンジュ	
	2. 上北地域福祉事業部門	
	(1) 特別養護老人ホーム彩香園アルテリーベ	
	(2) デイサービスセンターサンポエム	
	(3) 彩香園アルテリーベ 居宅介護支援事業所	
	(4) グループホーム 青い空	
	(5) コレクティブハウス 彩香園アルテリーベ	

IX. 活動報告	28
1. 行動（行事）報告	
（１）八戸地域福祉事業部門	
（２）上北地域福祉事業部門	
2. 設備修繕報告	
（１）八戸地域福祉事業部門	
（２）上北地域福祉事業部門	
3. 研修報告	
（１）八戸地域福祉事業部門	
（２）上北地域福祉事業部門	
X. その他の取組み報告	39
1. 苦情報告	
（１）八戸地域福祉事業部門	
（２）上北地域福祉事業部門	
2. 地域貢献・地域交流	
XI. 健康管理報告	40
1. 職員福利厚生	
（１）健康診断	
（２）予防接種	

I 法人事業総括

令和 6 年度のキーワードは「令和の米騒動」「物価高が止まらない」であったと思われる。日本人の主食と言われる「お米」がまさかの店頭にない。当法人では日ごろからの繋がりによりお米がないという事態にはならなかったが、値段の高騰という荒波には逆らうことができない状況となっている。政府による食費の援助はまだなく、早期の援助を期待するところである。

介護業界においては「ICT の推進」「介護 DX」など業務の効率化の推進がされた。当法人では、上北部門で青森県の補助金を利用して入所施設への「見守り機器」全床導入、介護ソフトの入替による「音声入力」「インカム」の導入と ICT 化を大きく進めた。令和 7 年度において導入効果を見ていきたい。

自然災害においては、令和 6 年 1 月 1 日に発生した能登半島地震、その後 8 月に九州で発生した地震による「南海トラフ地震臨時情報」発表があった。青森県においては三陸沖北部地震の確率が高いことから、当法人において引き続き対策をしておかななくてはならない大きな課題である。

当法人は基本理念「主観的幸福感の追求」に基づき、利用者主体の「普遍化」と「個別化」を基本としたサービスの提供に努め、社会福祉法人としての使命、地域の社会福祉施策の一翼を担う存在としてその役割を遵守した。今後もその方針は継続しつつ、一方で新たな収益源、人材確保の手段を模索し、経営基盤の一層の強化を図りたい。

新年度は、さらなるサービスの質の向上、地域への貢献を目指し、社会的貢献性のある現存事業の拡大や地域に必要とされる新たな事業展開を視野に入れながら、法人全職員が一致団結して、よりいっそう職務に精進していく所存である。

II 事業成果の内容

1. 法人の基本理念と基本方針の再確認について

職員に対しては施設内研修、新規学卒並びに中途採用者に対してはオリエンテーションを通じて周知に努めた。今後も機会ある毎に折にふれ、継続した周知徹底を図りたい。

2. 法人職員の明るい環境作りについて

老人福祉事業並びに障害福祉事業のいずれにおいても、それぞれの現場における問題提起とその改善策についての話し合いの機会を設け、その結果が現場に反映されるよう努めた。また、福利厚生の一環として法人職員親睦会にて企画した職員旅行の実施と職員の心身のリフレッシュの機会となるよう連続有給休暇の取得促進を図った。

3. 介護保険制度並びに障害者総合支援法の調査研究について

毎月、法人内施設・事業所の所長クラス並びにレセプト担当職員にて構成する「運営会議」を開催し、それぞれの施設及び事業所の毎月の利用状況についての報告の機会を設け、介護保険並びに障害者総合支援法の法改正を見込んでの具体的な経営運営上のシミュレーションを行い、経営上の課題分析や事業運営についての検討を図った。

4. サービスの質の向上・充実について

法人内施設・事業所・部署毎に毎月、施設内研修を実施し、老施協並びに身障協等で主催する施設外研修についても可能な限りの参加を推進した。特養、デイサービス、グループホームおよび障がい者支援施設のいずれについても介護相談員又はオンブズマン（第三者委員）の毎月の受け入れ、さらに青い空、桔梗野の家のグループホームについては、県老施協の外部評価、そして全施設・事業所において、介護サービス情報の公表制度の受け入れ・実施を図り、ケアサービスの向上に向けての職員の動機付けを行い、業務改善並びに新しい取り組みについて実施、充実に努めた。

5. 地域福祉交流の促進について

老人福祉事業部門、障害福祉事業部門のいずれも保育園児を対象とした行事の余興依頼、小中高生並びに近隣住民を含む一般ボランティアの積極的な受け入れと地域行事に対して職員のボランティア派遣、施設建物の無料開放等、例年同様に福祉施設の理解の拡充に努めた。今後も法人各施設並びに事業所について地域コミュニティのさらなる発展に貢献できるよう地域住民とのより一層の積極的な交流を図りたい。

Ⅲ 法人設置経営者

社会福祉法人 秋葉会 理事長 高橋 奈々子

法人本部 青森県八戸市大字河原木字八太郎山3番138

Ⅳ 法人事業の沿革

平成04年03月30日	社会福祉法人秋葉会設立認可
平成05年04月01日	特別養護老人ホーム彩香園アルテリーベ開設（50名）
04月01日	〃 ショートステイ開設（04名）
平成05年07月01日	デイサービスセンターサンポエム開設（B型）
平成12年02月01日	彩香園アルテリーベ訪問看護ステーション開設
04月01日	彩香園アルテリーベ居宅介護支援事業開設
06月01日	デイサービスセンターサンポエム定員増（1日の利用定員30名）
10月23日	グループホーム青い空開設（09名）
平成14年04月01日	彩香園アルテリーベ在宅介護支援センター開設（旧上北町委託）
04月01日	デイサービスセンター桔梗野の家開設（1日の利用定員20名）
04月01日	グループホーム桔梗野の家開設（09名）
04月01日	居宅介護支援事業所桔梗野の家開設
06月01日	デイサービスセンターサンポエム定員増（1日の利用定員35名）
平成15年05月01日	デイサービスセンターサンポエム定員増（1日の利用定員40名）
10月01日	身体障害者療護施設八太郎山療護園開設（40名）

10月01日	〃 ショートステイ開設（04名）
10月01日	児童デイサービスセンター希望ヶ丘開設（1日の利用定員10名）
平成16年07月01日	身体障害者療護施設八太郎山療護園ショートステイ定員増（06名）
平成17年05月10日	八太郎山居宅支援センター開設 （障害者ショートステイ8名、障害者デイサービス1日の利用定員15名、障害者向け住宅30部屋、居宅介護・訪問介護事業）
05月10日	八太郎山居宅支援センター訪問看護ステーション
平成17年06月01日	八太郎山居宅支援センター ショートステイ定員増（16名）
06月16日	居宅介護支援事業所桔梗野の家、八太郎山居宅支援センター内へ事務所移転
平成18年04月01日	特別養護老人ホーム彩香園アルテリーベ ショートステイ定員増（14名）
04月24日	デイサービスセンターサンポエム移転（本体建物増築）
10月01日	彩香園アルテリーベ ヘルパーステーション開設
10月01日	身体障害者向け住宅 コレクティブハウス彩香園アルテリーベ1号館開設（20部屋）
平成19年04月01日	居宅介護支援事業所桔梗野の家 グループホーム桔梗野の家内に事業所移転
平成20年03月09日	身体障害者向け住宅 コレクティブハウス彩香園アルテリーベ2号館開設（4部屋）
平成23年10月01日	八太郎山療護園 障がい者支援施設（生活介護・施設入所支援）へ移行
平成24年04月01日	児童デイサービスセンター希望ヶ丘 放課後等デイサービスへ移行
平成24年07月01日	特別養護老人ホーム彩香園アルテリーベ増床（52名）
平成25年09月01日	グループホーム青い空増床（18床）
平成26年06月01日	八太郎山療護園 特定・障害児相談支援事業
平成27年08月01日	児童デイサービスセンター第二希望ヶ丘開設（10名）
平成28年12月15日	障がい者デイサービス根城の家開設（20名）
平成30年05月01日	名称変更 八太郎山居宅支援センター ⇒ 八太郎山の家（住宅・有料老人ホーム） 〃（ヘルパー） ⇒ 八太郎山の家 ヘルパーステーション 〃 訪問看護ステーション ⇒ 八太郎山の家 訪問看護ステーション 移転および名称変更 居宅介護支援事業所 桔梗野の家 八戸市市川町字桔梗野 15-7 相談支援事業所 八太郎山療護園 八戸市河原木字八太郎山 3-138 ⇒ 居宅介護支援・相談支援事業所 八太郎山の家 そうだん室 八戸市河原木字八太郎山 3-140
令和01年05月01日	八太郎山療護園日中一時支援事業開設（委託：八戸市、他）
令和02年06月01日	八太郎山療護園生活介護定員増（50名）

令和 03 年 01 月 01 日	児童デイサービスセンター希望ヶ丘 児童発達支援事業開設
令和 04 年 01 年 31 日	児童デイサービスセンター第二希望ヶ丘休止
令和 04 年 02 月 01 日	障がい者デイサービス リアンジュ開設（20 名） 多機能型通所支援事業所リアンジュ開設（10 名） 八太郎山療護園生活介護定員増（60 名）
令和 04 年 06 月 30 日	児童デイサービスセンター希望ヶ丘 児童発達支援事業廃止
令和 04 年 09 月 30 日	児童デイサービスセンター第二希望ヶ丘廃止
令和 05 年 04 月 30 日	デイサービスセンター桔梗野の家休止
令和 06 年 03 月 31 日	デイサービスセンター桔梗野の家廃止 住宅型有料老人ホーム コレクティブハウス彩香園アルテリーベ廃止
令和 06 年 04 月 01 日	特別養護老人ホーム彩香園アルテリーベ増床（66 名） 短期入所生活介護事業所 コレクティブハウス彩香園アルテリーベ 開設（20 名）
令和 06 年 06 月 30 日	彩香園アルテリーベ 訪問看護ステーション休止 彩香園アルテリーベ ヘルパーステーション休止
令和 06 年 08 月 31 日	彩香園アルテリーベ 訪問看護ステーション廃止 彩香園アルテリーベ ヘルパーステーション廃止

V 法人施設並びに事業所の概要

名 称	敷地面積	建物面積
特別養護老人ホーム彩香園アルテリーベ	18,637.51 m ²	※3,162.72 m ²
デイサービスセンターサンポエム		
グループホーム青い空		
コレクティブハウス彩香園アルテリーベ		
グループホーム桔梗野の家	1,344.82 m ²	283.21 m ²
八太郎山療護園	19,076.09 m ²	※2,320.13 m ²
児童デイサービスセンター希望ヶ丘		
八太郎山の家		
八照庵（八太郎山療護園生活動作訓練棟）		
障がい者デイサービス根城の家	453.81 m ²	833.98 m ²
障がい者デイサービス リアンジュ	1,559.00 m ²	585.87 m ²
多機能型通所支援事業所リアンジュ		

※はいずれも機械室を含んだ面積

VI 理事会および評議員会

1. 理事・評議員・監事

(1) 理事

理事長 高橋奈々子

理事	工藤雅之	石和英夫	高橋史章
	高橋清	菊池真夕子	

(2) 評議員

駒ヶ嶺祥子	蛭名政勝	中野渡むつ子	壬生寿子
畑中義信	上舘唱二	工藤文雄	

(3) 監事

名久井信平 島守雅之

2. 理事会

(1) 第1回理事会 令和6年6月1日 秋葉会本部他オンライン

第1号議案	令和5年度決算（案）について
第2号議案	令和5年度事業報告書（案）について
第3号議案	評議員選任解任委員の選出について
第4号議案	令和6年度第1次補正予算（案）について
第5号議案	令和5年度下半期理事長等業務執行状況報告について
第6号議案	定時評議員会開催について
第7号議案	法人諸規定の一部改正（案）について

(2) 第2回理事会 令和6年9月15日 秋葉会本部他オンライン

第1号議案	令和6年度第2次補正予算（案）について
第2号議案	物品購入等について
第3号議案	令和6年4月～8月理事長等業務執行状況について
第4号議案	法人諸規定の一部改正（案）について

(3) 第3回理事会 令和7年3月8日 秋葉会本部他オンライン

第1号議案	コレクティブハウス彩香園アルテリーベ 事業形態変更について
第2号議案	令和6年度第3次補正予算（案）について
第3号議案	令和7年度事業計画（案）について
第4号議案	令和7年度当初予算（案）について
第5号議案	法人諸規定の一部改正（案）について
第6号議案	物品購入等について
第7号議案	評議委員会の開催について

3. 評議員会

- (1) 第1回評議員会 令和6年6月22日 八戸プラザホテル
- 第1号議案 令和5年度決算(案)について
- 第2号議案 令和5年度事業報告書(案)について
- 第3号議案 評議員選任解任委員の選任について
- (2) 第2回評議員会 令和7年3月28日 秋葉会本部他オンライン
- 第1号議案 コレクティブハウス彩香園アルテリーベ 事業形態変更について
- 第2号議案 令和6年度第3次補正予算(案)について
- 第3号議案 令和7年度事業計画(案)について
- 第4号議案 令和7年度当初予算(案)について

4. 監査

本年度はなし

VII. 法人事業報告

1. 実地指導等報告

障がい者支援施設 八太郎山療護園 実地指導 令和6年11月13日 指摘事項2件

障がい者デイサービス リアンジュ・多機能型通所支援事業所 リアンジュ

実地指導 令和6年11月29日 指摘事項1件

障害者向け住宅・有料老人ホーム 八太郎山の家

実地指導 令和7年1月10日 指摘事項1件

2. 職員の状況

(1) 八戸地域福祉事業部門（令和7年3月31日）

職種	年齢別人数（人）			合計
	10代～20代	30代～40代	50代以上	
施設長等	0	0	2	2
サービス管理責任者	0	1	2	3
児童発達支援管理責任者	0	2	0	2
介護職員	7	29	10	46
介護支援専門員	0	3	0	3
看護職員	1	3	5	9
理学療法士・作業療法士	0	6	0	6
管理栄養士・栄養士	0	1	0	1
生活相談員	0	1	0	1
保育士	1	4	0	5
児童指導員	0	0	1	1
調理員	0	2	2	2
事務員	2	2	0	4
非正規雇用者	3	16	17	36
			全職員	121

(2) 上北地域福祉事業部門（令和 7 年 3 月 31 日）

職種	年齢別人数（人）			合計
	10 代～20 代	30 代～40 代	50 代以上	
管理者	0	0	1	1
介護職員	1	3	3	7
介護福祉士	3	26	9	38
介護支援専門員	0	2	3	5
社会福祉士	0	1	1	2
看護師・保育士	1	4	2	7
機能訓練指導員	1	2	2	5
管理栄養士・栄養士	1	0	1	2
調理員	3	5	2	10
事務員	0	1	2	3
その他職員	0	0	0	0
非正規職員	0	3	24	27
			全職員	107

Ⅷ. 事業所報告

1. 八戸地域福祉事業部門

(1) 障がい者支援施設 八太郎山療護園

ア. 総評

(ア) 生活介護・施設入所支援

㊦生活相談 主任サービス管理責任者 松本智和

5月より生活介護定員を60名から50名に変更となる。7月中旬より八太郎山の家利用者4名がリアンジュ生活介護へ移行となる。施設入所者の重度化や高齢化に伴い、長期入院や受診が多くみられた。入院中にご逝去された方もいた。生活介護利用者も病気の悪化により長期入院と治療で長期離脱された方がいた。更に感染症クラスター発生により施設入所者のレベル低下や後遺症によりご逝去された方もいた。利用者計18名と職員数名が罹患した中での対応はとても厳しい状況ではあったが、職種の垣根なく職員・利用者共に一致団結して終息を迎える事が出来た。今後は発生させない事が一番だが、発生した際にいかに最小限に食い止められるか、今回の経験を活かしていきたい。日々の状態観察や日常生活支援、感染症対策、事故予防等を行う中で介助方法の検討や対応の見直し、職種間協働で連携を図りながら、より良いサービス提供に繋げていく。

㊧生活支援 主任生活支援員 田端麻理子

10月にコロナウイルス感染症クラスターが発生し、利用者18名、職員4名が感染した。完全に収束するまでにかなりの時間を要し、職員にとっても利用者様にとっても苦しい日々であったと思う。しかし、延期になったとはいえ、今年度から新しい試みとして屋内で希望ヶ丘と合同の秋祭りを開催し無事成功したことは大きな成果であった。

利用者様については骨折が3件発生してしまい、非常に重く受け止めている。身体介助に対する意識の低さがこのような事故の原因と考えられるが、今後2度と同じ事故を繰り返さないために、アンケート記入による自身の行動の振り返りと、リハビリスタッフの協力の下、介助指導を行った。今後も研修や実技指導を充実させ、職員の質の向上に努めていく。

㊨看護 主任看護職員 田名部るり子

今年度は利用者のコロナ感染でクラスター発生し感染対応を行った。コロナ感染による容体悪化で救急搬送も数件あった。同時期に職員の感染も数名あり、職員不足での対応に追われた。インフルエンザの感染はみられなかったが今後も感染対応の継続が必要と考える。

今年度は利用者の骨折が数件あり整形外科受診があった。職員も気を付けてはいるものの、反省すべき点だと思われる。

定期受診や定期健診を通して各々の医療機関・主治医と連携し、異常の早期発見・治療ができるようにしていきたい。

㊤機能訓練 副主任理学療法士 下館麻未

今年度は、日常業務に加え多職種連携等利用者へより良い支援を提供する為の取り組みに努めた。特に今年度は新型コロナウイルスの施設内感染もあり、通常通りにリハビリテーションの提供ができない時期もあった。活動が制限される中でも利用者に出来る事、必要なことを改めて考える機会になったと感じる。また、職員がより安全に行う事の出来る介助方法についての研修も実施した。事故防止のため、今後も定期的に見直しを行い、より良い介助方法の検討・提案は継続する必要がある。その為にも日々利用者に寄り添ったサービス提供を心掛け、多職種連携をより強化していく事が重要と考えられる。

㊦給食 管理栄養士 金濱道子

利用者様の高リスク者の内訳は、血清アルブミン値が 3.0g/dℓ以下（5 名）と体重変化率が 10%以上（2 名）であった（R7.3 データ）。血清アルブミン値 3.0 g/dℓ以下の 5 名中 4 名が経管栄養の方だった。

R6.12.17 の健康診断の結果、喫食者全体の内 38%でアルブミン値が増加した。残食量は前年度比で朝食（19%減少）、昼食（21%減少）、夕食（12%減少）といずれも減少傾向であった。その為、喫食者のアルブミン値増加の要因としては喫食率増加が関係していると思われる。あおもりコープフーズの献立上、栄養素に関して微量栄養素が不足しがちなので、その日の献立によって不足する栄養素を補うように補助食品を献立に組み込んでいる。また、食事形態によっても不足する栄養素が違うので、それぞれ充足できるような補助食品を選択した。全般的には蛋白質・カルシウム・鉄・ビタミン B1・ビタミン B2・ビタミン C が不足することが多かった。低栄養の場合、アルブミンの他にヘモグロビンや HDL コレステロールの低下もみられるようになるので、蛋白質の他に鉄や鉄の吸収を高める VC も過不足ない様に補助食品で調整をしている。

今年度は利用者のコロナ感染でクラスターが発生し、施設内で初めて大規模な感染対応をする事態が起きた。厨房職員に関しては感染者ゼロで何とか乗り切れたが、数週間に渡る対応となり課題も見えてきた。その点も踏まえて、提供方法の見直しや備蓄の入れ替えも兼ねて、不測の事態を想定した BCP 訓練を年に 1 度実施したい。

㊧給食 主任調理員 村山宗久

今年度は青森コープフーズによる行事食に加え、リクエストメニューなどの手作りメニューも組み込み、利用者様に喜んで頂けた（青森コープフーズの行事食（8 回）、手作りメニュー（10 回））。

10 月の感染対策期間中は 3 食弁当対応が続き、通常時とは勝手が違うため最初は戸惑ったが、調理員がそれぞれ意見を出し合い都度変更しながらスムーズに提供することができるようになった。

調理員は大きく体調を崩す者もおらず特に問題はなかった。根城の家、リアンジュも特に問題なくシフトが組めた。来年度もこの状態を維持していけるよう努めたい。

(イ) 短期入所 主任サービス管理責任者 松本智和

施設入所者の高齢化や重度化により短期入所の受け入れに関しては、慎重に行なわなければいけない状況が続いている。前年度稼働率 33.2%から、今年度は 30.5%と減少しているが、短期入所利用から施設入所へ移行された方がいた事と、感染症クラスターによる影響が大きかった。新規契約に関しては 3 件であった。1 件は生活介護利用者のご家族様が骨折の為、長期入院となり緊急受け入れとしてロングショート実施。その後施設入所へ移行されている。根城の家生活介護利用者やリアンジュ生活介護利用者の短期入所では、各事業所の送迎利用によりご家族の負担の軽減にも繋がっている。今後も各事業所間で連携や情報共有を図りながら、より良いサービス提供が行えるように心掛けていく。

イ. 利用者状況

(ア-1) 施設入所支援 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

・施設入所契約者：39 名

単位：人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
延べ人数	1,171	1,209	1,170	1,193	1,222	1,147	
1 日平均	39	39	39	38.5	39.4	38.2	
稼働率	97.6%	97.5%	97.5%	96.2%	98.5%	95.6%	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間平均
延べ人数	1,120	1,083	1,177	1,204	1,092	1,209	1,061
1 日平均	36.1	36.1	38	38.8	39	39	38.3
稼働率	90.3%	90.3%	94.9%	97.1%	97.5%	97.5%	95.7%

(ア-2) 生活介護支援 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

・在宅生活介護契約者：9 名

・生活介護契約者：39 名

単位：人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
在宅	148	139	122	123	98	97	
施設	858	897	858	884	907	842	
延べ人数	1,006	1,036	980	1,007	1,005	939	
1 日平均	45.7	45.0	44.5	43.8	43.7	42.7	
稼働率	76.2%	90.1%	89.1%	87.6%	87.4%	85.4%	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
在宅	91	106	89	88	87	114	
施設	832	795	874	896	780	897	年間平均
延べ人数	923	901	963	984	867	1,011	968.5
1 日平均	40.1	45.1	41.9	42.8	43.4	44.0	43.6
稼働率	80.3%	81.9%	83.7%	85.6%	86.7%	87.9%	85.1%

(イ) 短期入所（令和 7 年 3 月 31 日現在）

単位：人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
延べ人数	51	63	40	62	54	62	
1 日平均	1.7	2.0	1.3	2.0	1.7	2.1	
稼働率	28.3%	33.8%	22.2%	33.3%	29.0%	34.4%	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間平均
延べ人数	37	65	75	55	47	58	55.7
1 日平均	1.2	2.2	2.4	1.8	1.7	1.9	1.8
稼働率	19.9%	36.1%	40.3%	29.6%	27.9%	31.2%	30.5%

(ウ) リハビリテーション実績

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
施設入所	215	249	358	444	401	378	
外部生活介護	49	57	73	93	71	58	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間平均
施設入所	263	239	399	416	391	415	347.3
外部生活介護	54	42	63	69	65	77	64.3

(2) 児童デイサービスセンター希望ヶ丘

ア. 総評

(ア) 放課後等デイサービス 児童発達支援管理責任者 久慈沙織

今年度は昨年度と比較し、延べ 57 人上回った。手術や家庭都合による 2～3 ヶ月の短期入所やはまなす医療療育センターにて 1 週間程度の集中訓練が多くみられたが、維持する事ができた。利用相談については、近隣の小学校に通う児童や遠方からの問い合わせもあり、送迎や職員配置等踏まえながら対応していきたい。

個別療育や集団療育の内容を長期休業前等、定期的に見直しを行った。職員皆が意見を出し合えるような会議の形にしたことで、児童の見立てに偏りなく統一した支援を目指すことができてきた。また他事業所への見学や、情報交換を行うことができ支援にいかすことができています。

長期休みには、フルート演奏会やワークショップ、久慈市への遠足、うどん作りなどクッキングも多く取り入れることができた。地域の社会資源を活用しながら幅広い支援を行っていききたい。

昨年度まで、玄関に毎月の様子を写真にてお知らせしていたが、ご家族から好評で配布して欲しいとのありがたい要望があり、今年度から毎月写真付きのおたよりを配布している。毎月の活動の様子他に、避難訓練等を載せることにより事業所での取り組みが伝わりやすくなった。相談しやすい環境作りを大切にし、今後にご家族や児童へのより良い支援を行っていく。

(イ) 日中一時支援 児童発達支援管理責任者 久慈沙織

毎月ではないが、ご家族の都合により 2 名が利用している。今後にご家族のニーズに合わせレスパイト支援を含めた取り組みを行っていく。

イ. 利用者状況

(ア) 放課後等デイサービス

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
延べ人数	162	173	172	192	139	164	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間平均
延べ人数	179	180	149	130	124	142	158.83

(イ) 日中一時支援

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
延べ人数	1	3	3	3	1	0	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間平均
延べ人数	4	1	0	0	1	1	1.5

(3) 居宅介護支援・相談支援事業所 八太郎山の家そうだん室

ア. 総評 主任介護支援専門員、相談支援専門員 中島貴光

介護保険は、新規から死去と施設入所などによる終了を差し引き 2 名増。認知症や疾病による ADL 低下においても自宅での生活を続けたいと希望する方々の受け入れが主であった。障害福祉の方では死去、障害福祉サービスの終了、介護保険への意向等の理由による終了。新規は八太郎山療護園入所者、根城の家を利用されている方々から、相談支援事業所を同法人である八太郎山の家そうだん室に変更したいとの相談が多くあった。様々なケースや制度に対応できるように知識や経験を増やし、介護保険と計画相談を両立して支援できる当事業所の強みを活かしていきたい。

イ. 利用者状況

【相談支援】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
障害者	14	10	13	11	11	11	
障害児	1	0	1	1	1	2	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間平均
障害者	12	9	9	4	15	8	10.6
障害児	0	0	0	0	2	1	0.6

【介護保険】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
要支援事業対象	8	8	7	7	7	7	
要介護 1	11	11	11	11	11	11	
要介護 2	14	14	14	15	15	15	
要介護 3	11	11	11	11	11	11	
要介護 4	5	6	7	7	7	7	
要介護 5	7	7	7	7	7	7	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間平均
要支援事業対象	7	7	7	7	7	8	7.3
要介護 1	12	12	13	12	12	11	14.3
要介護 2	15	14	13	14	14	15	16.1
要介護 3	11	11	10	10	10	10	10.7
要介護 4	8	7	8	8	8	8	7.2
要介護 5	6	6	6	6	6	6	6.5

(4) 八太郎山の家 ヘルパーステーション

ア. 総評 管理者 西村貴志

本年度は有料老人ホームの入退去に伴いサービス終了者3名、新規契約者1名であった。本年度も新型コロナウイルスなどの感染症による影響がみられ、デイサービスの利用制限や職員の勤務体制にも影響が生じたが、幸いにも事業所内での大きな感染拡大は発生しなかった。

依然として職員不足の状況は続いており、訪問の中止には至らないものの、残業の増加などにより職員の疲労が少しずつ見え始めている状況である。そのため、今後も職員の心身の状態を丁寧に観察し、必要に応じたフォローを行っていく必要がある。

来年度も、利用者一人ひとりがその人らしく安心して暮らしていけるよう、きめ細やかな支援と丁寧な対応に努めるとともに、職員一人ひとりが専門職としての倫理観を高め、質の高いサービスの提供を目指していきたい。また、人事異動に伴い、次年度からは新たな体制での運営となるため、事故やサービスの質の低下を防止すると同時に、離職防止の取り組みとして、職員が抱える課題の把握と、働きやすい職場環境の整備にも引き続き力を入れていきたい。

イ. 利用者状況

【居宅介護】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数（人）	18	18	18	18	18	17	
延訪問件数（件）	838	900	848	903	801	800	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
利用者数（人）	17	17	16	15	15	15	16.8
延訪問件数（件）	817	745	795	783	725	783	744.8

【訪問介護】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数（人）	30	29	30	31	31	31	
延訪問件数（件）	1,046	1,052	1,081	1,062	1,087	1,055	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
利用者数（人）	32	30	30	29	29	30	30.2
延訪問件数（件）	1,015	1,058	1,062	1,062	976	1,094	1054

(5) 八太郎山の家 訪問看護ステーション

ア. 総評 主任看護職員 大野美華子

今年度は有料老人ホームの入退居に伴い、サービス終了者 3 名、新規契約者 1 名であった。サービス終了者は看取り・持病の悪化・入院中の病状悪化によるものだった。日々の観察から状態変化を見極め、医療機関と連携し看護に関わっていたが、結果的に入院するケースもあった。特に高齢者では症状が軽度で、気付かないうちに重症化する危険性がある。そのため、日々の状態観察を密に行い、医療機関との連携を徹底して行うことの重要性を改めて理解した。今後も、日常生活援助に関わる介護職員と連携し、異常の早期発見、サービスの質の向上に取り組んでいきたい。

イ. 利用者状況

【医療】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
利用者数 (人)	17	17	17	17	16	16	
延訪問件数 (件)	294	308	292	306	291	285	
平均訪問件数 (件／人)	17.2	18.1	17.1	18	18.1	17.8	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間平均
利用者数 (人)	16	16	15	15	15	15	16
延訪問件数 (件)	294	272	290	289	260	287	289
平均訪問件数 (件／人)	18.3	17	19.3	19.2	17.3	19.1	18.0

【介護】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
利用者数 (人)	26	25	25	26	26	26	
延訪問件数 (件)	271	290	272	304	293	273	
平均訪問件数 (件／人)	10.4	11.6	10.8	11.6	11.2	10.5	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間平均
利用者数 (人)	26	26	25	25	24	25	25.4
延訪問件数 (件)	289	271	280	288	243	272	257.3
平均訪問件数 (件／人)	11.1	10.4	11.2	11.5	10.1	10.8	10.1

(6) 身体障害者向け住宅・有料老人ホーム 八太郎山の家

ア. 総評 管理者 西村貴志

今年度の入退居状況は、退居者 3 名、新たな入居者が 1 名という結果となった。昨年度に続き、職員および利用者の中で新型コロナウイルスやインフルエンザの感染事例が見られたが、事業所内での大きな感染拡大は発生せず、部会を中心に実施してきた感染対策が効果を上げていていると感じている。

行事については、新型コロナウイルス感染症の分類が 5 類となったことにより外出行事の実施も可能となり、利用者の気分転換やストレス軽減につなげることができた。来年度も、入居者が楽しみを感じられる行事の企画・実施に取り組み、より充実した生活の提供を目指していきたい。

研修については、今年度は現地で外部研修の開催も増え、参加の機会が少しずつ広がってきた。また、オンライン研修も引き続き積極的に活用し、昨年度同様、さまざまな分野の研修に参加することができた。さらに、内部研修や会議についてもオンラインでの参加を進めることで、職員の負担軽減にもつなげることができたと考えている。来年度は、職員一人ひとりが専門職としての自覚と責任を持ち、より高い倫理観に基づいた行動ができるよう取り組んでいきたいと考えている。利用者の尊厳を守り、安全・安心な生活を提供するためには、知識や技術だけでなく、倫理的な判断力や他者への配慮が不可欠である。日々の業務の中で、「自分の対応は適切だったか」「利用者の立場に立てていたか」といった視点を持ち、職員間での振り返りや共有の機会を積極的に設けていく。また、研修や内部会議を通じて、倫理に関する事例検討や意見交換を行い、職員全体で意識の向上を図る。こうした取り組みを通じて、信頼される施設づくりと、より質の高い支援の提供を目指していく。

イ. 利用者状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
入居実人数	44	44	44	44	43	43	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間平均
入居実人数	43	42	41	41	42	42	42.7

(7) グループホーム桔梗野の家

ア. 総評 主任介護員 中村いく子

利用状況は入退居や入院が無く空所はなかった。待機入居者は 30 名前後おり、毎月空所の問い合わせや申し込みがあり、現代社会ではグループホームが必要とされている状況であると感じた。利用者の平均年齢は 88.5 歳、平均介護度は 2.2 と昨年より少し上がっている事から今後 ADL の低下や重度化していくことが予想される。9 月には補聴器を異食する事故があり、八戸市へ事故報告を提出している。このことを通して職員が認知症への知識や技術不足であったと感じ、外部研修等へ参加の機会を増やしていきたい。普段の活動として、調理や掃除、洗濯干し・洗濯たたみなど利用者と職員が一緒に行ったり、職員が手を出し過ぎない介護を心掛け利用者の残存機能の維持・向上を図るよう取り組んだ。行事では外出の機会を作り、外の景色や空気にふれることで気分転換を図ることが出来た。

地域交流では「おもてなしカフェ」での(株)中居青果様の野菜果物販売会やスマイル様の音楽イベントなど開催し、地域の方にたくさん足を運んでもらい喜んでいただいた。その他に桔梗野小学校 6 年生が訪問し、劇や手品を披露してくれて交流することが出来た。来年度は学校行事へ出向き、もっと交流の機会を増やしていきたい。

イ. 利用者状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
延べ人数	270	279	270	279	279	270	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間平均
延べ人数	279	270	279	279	252	279	273.75

(8) 障がい者デイサービス 根城の家

ア. 総評 主任サービス管理責任者 須藤由紀

利用者の生活支援

サービス利用計画の内容やご本人、ご家族の意向を踏まえ個別支援計画書を作成し支援を行っている。生活介護を含め様々な福祉サービスを利用する事で、在宅生活の継続や心身の健康状態を保つことができている。ご本人やご家族のニーズに対し、相談支援事業所等との情報共有、連携により生活全体として捉え取り組んでいる。今後も利用者様、ご家族の声や意向を尊重しながら支援を行っていく。

利用者の余暇活動・行事・機能訓練の充実

リハビリ実施計画書に基づき理学療法士を中心として、日常生活動作や疼痛緩和等ご本人、ご家族の意向に沿った内容を実施している。都度意向の確認を行いながら、内容を検討し実施することで満足度向上に努めている。余暇活動については、個々に応じた内容を実施し、楽しみや充実感等を得ることができるよう努めている。利用者様より外出行事の希望がきかれることがあったが、人員配置上外出行事を企画する事が出来なかった。

利用者の受け入れ

利用者数は月別利用者数参照。令和 6 年度は法人内別事業所や介護保険への移行、ご家庭の事情により 3 名の方が利用契約終了となった。今後も加齢や進行性の疾患等、ご家族の介護力や医療的ニーズの変化がみられる可能性が高いため、事業所単体ではなく、本部と連携しながら様々な状況に応じた対応ができるよう努める。

職場環境の整備

働きやすい環境や人を育てられる人材育成として、個々の思いや声等を聴きながら、相互理解の促進、業務内容やケア方法の改善、再確認等に努めている。利用者様においては統一したケア等の対応ができるよう情報共有の徹底を行っている。相手に伝わるようきちんと言葉にし、相手に伝える事、相手に伝えようと努めることを意識し不安等の解消に向けて取り組んでいる。

イ. 利用者状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
延べ人数	309	328	297	326	323	312	
1 日平均	12.9	13.7	12.9	13.0	12.9	13.6	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間平均
延べ人数	318	290	278	289	275	306	304.4
1 日平均	12.7	12.1	12.1	12.0	12.5	12.8	12.8

(9) 障がい者デイサービス リアンジュ

ア. 総評 主任相談員 畠山裕介

利用者の生活支援

在宅生活における利用者様の支援ニーズを確認し、支援計画や対応の内容につなげることが出来ている。直近の体調や家庭等の状況の相談連絡に対し、柔軟に応じながら検討して取り組んでいる。

日中活動の充実

余暇活動や行事など、日中活動のプログラムの充実を図るべく、併設事業所との協力を得て進めている。下半期から合同の場面を増やすことが出来ている。交流を持ちながら楽しむことで、満足度を高めていきたい。開所3周年にあたり、地域の社会資源を生かした協力連携により、イベントの充実に向けた話題が挙がった。利用者様に喜んでいただき、今後も活気ある運営を目指していきたい。

法人内の事業所間交流の幅を広げることが出来ている。これまで同様に同じ障害の悩みや相談、馴染みの職員と会うことが出来ている。視点の合ったコミュニケーションが図られている。月1回を基本とした定例会は継続の要望があり、取り組んでいく。

利用者数の増加

利用者様の施設入所に伴う減少があるも、新規利用の希望が上回っていることで、全体としては昨年度よりも増加となっている。定員に対し空きの状態があるが、利用者様の支援度合いを考慮して、必要なケアに応じられる内容で受け入れを進めていく。

職場環境の整備

法人全体としての軸軸人材の育成として、新たな管理者体制で運営を進めている。これまでの職員の支えがある中で、新たな環境での学びが現場の業務内容に良い効果をもたらしている。新採用職員も増え、職員育成の取り組みが強化されている。様々な変化の中でも基本となるべく土台がある事で、サービスの継続が図られている。全体としての体制強化と現場レベルでの質の向上に継続して取り組んでいく。働きやすさとやりがいを感じられる職場として、職員が互いの長所をリスペクトできるコミュニケーションが取れるよう、環境づくりを継続していく。

イ. 利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
延べ人数	219	230	218	239	257	258	
1日平均	9.1	9.2	9.4	9.5	10.2	11.2	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
延べ人数	304	275	265	283	256	267	235.8
1日平均	12.1	11.4	11	11.3	11.6	10.6	10.7

(10) 多機能型通所支援事業所 リアンジュ

ア. 総評 児童発達支援管理責任者 神山智美

今年度は前年度と比較し、延べ 45 人上回った。体調不良で入院が必要となる児童が数名いる中、キャンセル待ち利用を希望する児童も増えたことで一日の利用人数を確保することが出来ている。今年度 2 名の児童が卒業となり新規利用児童 1 名獲得、その他、利用曜日の追加希望などもあり現状、空きがない状況。適宜面談を実施し情報共有を図ることで児童、ご家族の体調面に配慮したサービス提供となるよう努めていく。療育活動では、成長に伴い感情コントロールに配慮が必要な児童が多く、その日の状態に応じた関りを模索した。大きな改善は見られないものの職員として継続して関わり児童の自主性を伸ばすことの重要性を再認識することが出来た。個別の対応を見直ししながら、児童にとってより良い療育・家族支援が行えるよう努めていきたい。

今後も、体調面を考慮しながら療育支援の充実を図り、児童が活動的に過ごせる場であるよう安心、安全に配慮していくと共に、本人・保護者のニーズを把握しつつ、サービス向上に努めていきたい。

イ. 利用者状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
延べ人数	236	228	227	198	215	213	
1 日平均	9.1	8.8	8.7	7.6	8.3	8.2	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間平均
延べ人数	215	204	201	228	208	223	216
1 日平均	8.3	7.8	7.7	8.8	8.0	9.2	8.4

2. 上北地域福祉事業部門

(1) 特別養護老人ホーム彩香園アルテリーベ

ア. 総評 統括主任 池田哲人

令和 6 年 4 月に特養増床となり、利用者全体の ADL も緩やかに低下していく中で、安全で確実にケア提供できるように業務の見直しを随時行うことができた。令和 7 年 2 月から ICT 機器導入し試験運用を開始、3 月から本格稼働し可能な限り手書き帳票を電子化している。全スタッフが操作や入力に慣れていくことにより、記録精度の向上が期待できる。また今まで記録に割いていた時間がなくなり利用者との直接関わる時間が確保できることで、きめの細かいサービス提供につながると思われる。3 月から外国人の特定技能生を受け入れ OJT 実施中。職員全体で指導育成を行っている。

(ア) 介護老人福祉施設

㊦相談 生活相談員 高田由紀子

4/1 に特養増床となり、4 月に 13 名の入所者を迎えた。翌月からは空き状況に合わせて、多い月で 4~5 名に入所していただいた。1 人ひとりの状態を把握し現場スタッフへ正確な情報を伝えること、そしてそれぞれのご家族の意向を丁寧に汲み取り、利用者・家族とも施設生活をより望む形でスタートしていただけるよう意識して取り組んだ。利用実績としては年間を通して稼働率を大きく落とすことなく維持することが出来た。

㊧介護・ケアマネジメント・機能訓練 統括主任 池田哲人

電子カルテのソフト変更やインカムやスマホでの入力が始まり、職種の垣根を超えスタッフ一丸となり積極的な取り組みができていた。不具合があるときはスタッフ個々が前向きな改善提案を行い、即座に修正・周知されていき、スタッフが持っている底力を改めて感じた。

㊨看護 看護師長 菊池真夕子

4 月は施設内での新型コロナウイルス感染拡大がみられたため、感染症対策の見直し、その後のインフルエンザその他の感染症の拡大はみられなかった。特養が増床したことで個室が増え、看取りがゆったり出来た印象である。家族とはまめに連絡することで、家族の看取りへの心構えをつくれるように関わった。看取り前の話し合いでは、本人の意向も大切にしていくため、家族と本人交えて話し合いの場を設けた。施設での看取り件数は 19 名、90 代後半の天寿を全うされた方が多く、2025 年の多死社会を象徴している。褥瘡対策として、エアマットを増やし、ポジショニング枕の導入をした。次年度は、褥瘡形成後の回復期間の短縮を目指していく。

㊤給食 管理栄養士 舩舘まゆみ

4月から特養増床、コレクティブハウス彩香園の事業転換と、2月からICT機器導入となりソフトが変わるという、めまぐるしい変化のある1年であった。原因はそれだけではないが、イベント食を多くはできなかった。利用者のADLの低下、看取りの方も多く、ミキサー食、超刻食が半数を超える状態になっている。また、看取りの方で食事が摂れなくなり、「ゼリー食」といった食事形態で提供することが増えた。一口でも、これなら食べられるというものを提供してきた。これから今何が食べられるのか、食べたいのかを聞き、察し、相談し提供していきたい。

食材の価格高騰が続く中、食材を無駄にしないように、必要以上に作らないように、調理員はじめ注意できた。単価の安い食材を使つての献立作成となっている。その中で、楽しみとなるような食事提供を考えていきたい。今年度も体調崩す職員はいたが、食中毒を出すことなく食事提供できた。これからも安全な食事提供の為の対策に努めたい。

イ. 利用者状況

(ア) 介護老人福祉施設

(令和7年3月31日現在)

	男	女	計
在籍者数	16	50	66
平均介護度	4.4	4.4	
平均年齢	81.9	89.8	87.8

(令和6年4月～令和7年3月)

	男	女	計
入所数	9	26	35
退所数	6	14	20
稼働率	96.9%		

(イ) 空床型短期入所生活介護

(令和6年4月～令和7年3月)

	男	女	計
利用日数	0	2	2

(2) デイサービスセンターサンポエム

ア. 総評 副所長兼生活相談員 安村秀一

令和6年4月よりコレクティブハウスの事業転換により住宅入居利用者の利用終了があり、要介護4・5の利用者が前年より平均6名程減少した。新規利用については42名、利用日の追加は26件受け入れたが、施設入所等による利用終了が36名、入院等での利用休みが42件となり、思うように実績を伸ばす事ができなかった。現在の近隣町村の現状としては介護者の就労の変化や家族環境の変化などにより、在宅での生活を継続することより施設入所を選択する方々が増加してきている状況である。また、利用開始の年齢も90歳を超えた方々が多く、地域の変化等も顕著に感じる年であった。

サービス提供については、余暇活動の内容や進行に利用者から一定の評価を頂けた。個人の状態に合わせて最適な入浴サービスの提供に心掛け、個別機能訓練は運動機能の維持・向上を基本としマッサージ等で心身のリラックスを図る形で提供した。在宅生活を続ける上で必要なことを維持・継続していけるようなサービスを引き続き提供していきたい。

イ. 利用者状況

利用回数

(令和6年4月～令和7年3月)

	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	計
R6.4	21	86	327	294	81	43	4	856
R6.5	15	99	245	299	90	50	4	902
R6.6	21	89	355	270	90	38	4	867
R6.7	25	71	362	294	99	36	4	891
R6.8	24	65	349	264	83	34	6	825
R6.9	26	67	360	274	103	24	4	858
R6.10	19	87	382	252	111	27	4	882
R6.11	24	100	370	257	98	26	4	879
R6.12	16	98	416	290	114	29	5	968
R7.1	21	108	394	290	119	26	4	962
R7.2	24	100	354	231	104	7	14	834
R7.3	25	129	372	227	95	36	13	897
平均利用件数					29.09			

(3) 彩香園アルテリーベ 居宅介護支援事業所

ア. 総評 所長 作田由美子

介護保険新規申請に於いて、60歳台、70歳代では末期がんの方が多く、そのほか
は90歳前後の方が多かったため契約期間が短い方が増えた。又、80歳代では要
介護から要支援になる方も多く、介護予防支援の担当件数が倍増した。契約期間
が短い方が多くなったことから、初期は迅速な対応を心掛け、その後は本人に寄
り添い自立支援、自己決定の支援に努めた。そのために介護との連携はもとより
医療との連携は、かかりつけ医の他専門医、薬剤師、歯科、リハビリテーション
等多職種と関係性を強化し、高齢介護課や包括支援センターとの連携を深める取
り組みができた。新年度は、ケアマネジメント力の向上と生産性の向上による増
益を目指す。

イ. 利用者状況

利用人数

(令和6年4月～令和7年3月)

	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	計
R6.4	54	39	17	21	7	138
R6.5	57	36	15	22	8	138
R6.6	58	35	16	23	7	139
R6.7	60	35	18	21	7	141
R6.8	58	37	17	19	8	139
R6.9	61	36	19	18	9	143
R6.10	61	38	19	14	7	139
R6.11	62	38	20	14	7	141
R6.12	65	37	21	14	8	145
R7.1	66	39	20	13	6	144
R7.2	67	36	21	12	6	142
R7.3	64	34	24	11	5	138

(4) グループホーム 青い空

ア. 総評 所長 和田吉彦

一人ひとりの気持ちを大切に、家事活動や軽作業を通じて入居者一人一人が主体性を持って生活できる様に支援を行った。

医療職との情報交換を密に行い入居者の体調管理に努めた結果、体調不良時には迅速に対応できた。

運営推進会議を通して事業の内容や運営推進会議委員との情報交換ができ、地域との交流を円滑に行うことができた。

認知症サポーター講座への講師派遣や消防団活動の参加協力ができた。

イ. 利用者状況

(令和7年3月31日現在)

	男	女	計
在籍者数	3	15	18
平均介護度	3.5	2.8	3.15
平均年齢	85.5	91.1	88.3

(令和5年4月～令和6年3月)

	男	女	計
入所数	0	2	2
退所数	0	2	2
稼働率	99.2%		

(5) コレクティブハウス 彩香園アルテリーベ

ア. 総評 生活相談員 柴田奈緒子

今年度から短期入所を開始したこともあり、最初の数カ月は短期入所としての対応を掴むことを第一としベッド稼働率は8割台だった。8月からは9割台をキープすることができ、1月は96.5%で稼働率が1年で一番高かった。

定期利用の方の介護の重度化に伴い施設入所や入院が多くみられた。稼働率9割以上を目標に、ご家族や利用者のニーズを汲み取り、柔軟に対応していくことで多くの方にサービスを利用していただけるよう取り組んでいきたい。

イ. 利用者状況

(令和6年4月～令和7年3月)

	利用者数	利用延日数	稼働率(%)
令和6年4月	33	468	82.1
令和6年5月	33	509	86.4
令和6年6月	36	529	92.8
令和6年7月	33	496	84.2
令和6年8月	33	546	92.7
令和6年9月	34	527	92.5
令和6年10月	33	557	94.6
令和6年11月	35	539	94.6
令和6年12月	35	549	93.2
令和7年1月	36	571	96.9
令和7年2月	34	512	96.2
令和7年3月	34	544	92.4

IX. 活動報告

1. 行動（行事）報告

（1）八戸地域福祉事業部門

月	八太郎山療護園	希望ヶ丘	八太郎山の家
4	お花見	お花見会（外出）	お花見
5	おやつ作り	端午の節句	外食行事
6	牛井テイクアウト	運動会	外食行事
7	七夕おやつ作り	七夕	テイクアウト行事
8	アイステイクアウト	夏のお楽しみ会	八戸三社大祭見学
9	買物外出	おたのしみ BBQ	
10	コロナクラスターにより中止	ハロウィン祭り	紅葉ドライブ
11	八太郎山祭 お寿司の日	秋のお楽しみ会（外出） 療護園・希望ヶ丘合同秋祭り	外食行事
12	クリスマスイベント	クリスマス会	クリスマス会、餅つき会
1	新年会	新年会	新年会
2	豆まき・鍋会食	節分	節分、運営懇談会
3	ケーキバイキング	ひなまつり	ひなまつり
他		誕生会(誕生日に近い日)	

月	根城の家	グループホーム桔梗野の家	リアンジュ
4	お花見ドライブ	花見ドライブ 誕生会	お花見ドライブ
5	端午の節句手作りおやつ	八食センター (買い物と外食) 誕生会	ランチ会
6	運動会	さくらんぼ狩り	買い物外出
7	七夕短冊作り	流しそうめん(七夕) 誕生会	手作りおやつ
8	夏祭り	桔梗野地区祭り	納涼ドライブ 三社大祭見学
9	ランチ会	ぶどう狩り 敬老会 誕生会	ランチ会
10	ハロウィン 紅葉ドライブ	運動会 誕生会	ハロウィンキーホルダー制作 紅葉ドライブ
11	紅葉ドライブ	外食会&紅葉ドライブ 誕生会	紅葉ドライブ 八太郎山祭り
12	クリスマス会	クリスマス忘年会 (地域・ご家族との交流) 誕生会、餅つき	クリスマス会
1	ランチ会	初詣&新年会	新年の集い・ランチ会 習字展覧
2	節分・えんぶり見学	節分	節分・えんぶり見学
3	ひな人形展見学	ひな祭り会(スイーツバイキング)	スイーツ会
他		オンブズマン来所 個別外出	

(2) 上北地域福祉事業部門

月	特別養護老人ホーム 彩香園アルテリーベ	彩香園アルテリーベ 居宅介護支援事業所 在宅介護支援センター	デイサービスセンター サンボエム
4	お花見ドライブ		お花見ドライブ
5	お茶の会	東北町委託事業 体力づくり教室	
6	たい焼きの日	東北町委託事業 認知症予防教室	
7	おやつバイキング	東北町委託事業 認知症予防教室	
8	夏祭り 物故者ご供養	東北町委託事業 体力づくり教室	
9	敬老会	東北町委託事業 体力づくり教室	敬老会
10	紙飛行機とばし大会	東北町委託事業 家族介護者教室	スポーツ週間 紅葉ドライブ
11	外食会	東北町委託事業 家族介護者交流事業	
12	クリスマス会	東北町委託事業 認知症予防教室	
1	新年会		手作りおやつ
2	豆まき会	東北町委託事業 体力づくり教室	節分
3	物故者ご供養	東北町委託事業 体力づくり教室	手作りおやつ
他	誕生会（毎月）		誕生日会：毎月開催

月	グループホーム青い空	コレクティブハウス
4	お花見ドライブ おやつ作り	
5	お花見ドライブ おやつ作り	
6	家族交流会	
7	買い物ドライブ おやつ作り	
8	買い物ドライブ おやつ作り	
9	敬老会（ホーム） 紅葉ドライブ	
10	紅葉ドライブ おやつ作り	
11	買い物ドライブ おやつ作り	
12	忘年会	
1	初詣 ドライブ	
2	節分	
3	ひな祭り	
他	誕生会：都度開催	

2. 設備修繕報告

(1) 八戸地域福祉事業部門

- ・ホーミィリフト購入
 デイサービスリアンジュ

(2) 上北地域福祉事業部門

- ・空調設備入替
 デイサービスセンターサンポエム
 特別養護老人ホーム彩香園アルテリーベ（厨房）
- ・Wi-Fi設備 新設・増設
 特別養護老人ホーム彩香園アルテリーベ
 デイサービスセンターサンポエム
 グループホーム青い空
 コレクティブハウス彩香園アルテリーベ
- ・移動式リフト購入
 コレクティブハウス彩香園アルテリーベ
- ・ホーミィリフト購入
 デイサービスセンターサンポエム
- ・眠りスキャン購入
 特別養護老人ホーム彩香園アルテリーベ、グループホーム青い空
 コレクティブハウス彩香園アルテリーベ
- ・介護ソフトケアカルテ
 特別養護老人ホーム彩香園アルテリーベ
 グループホーム青い空
 コレクティブハウス彩香園アルテリーベ
- ・植栽剪定
 コレクティブハウス彩香園アルテリーベ

3. 研修報告

(1) 八戸地域福祉事業部門

ア. 内部研修

月	内容	実施事業所
4	倫理及び法令遵守 秘密保持義務	全事業所
5	接遇マナー・コミュニケーション	療護園
6	食中毒 感染症対策	全事業所
7	感染まん延防止対策 吐物処理シミュレーション	全事業所
	リスクマネジメントの考え方	全事業所
8	メンタルヘルス	全事業所
9	虐待防止・身体拘束の適正化	全事業所
10	衛生管理・熱中症対策	療護園
	非常災害時の対応	全事業所
11	緊急時の対応と救命救急	全事業所
12	看取り・吸引	全事業所
1	腰痛予防	全事業所
2	OJT 指導スキル研修	全事業所
3	認知症利用者の対応について	全事業所

イ. 外部研修

日程	研修内容
4	産業保健関係者研修会・在宅看護における褥瘡対策 WEB セミナー
5	令和 6 年度特定給食施設等栄養管理研修会 2024 年度診療報酬&介護報酬改定制度 研修 相談支援従事者初任者研修
6	社会福祉法人運営の基本対策セミナー・強度行動障害支援者養成研修 令和 6 年度青森県災害福祉支援チーム員登録時研修 フォークリフト運転技能講習
7	令和 6 年度青森県喀痰吸引等研修・介護支援専門員更新研修 第 43 回青森県身体障害者施設職員研修会 ノーリフティングケア地区別研修会 令和 6 年度青森県認知症対応型サービス事業開設者研修 社会福祉施設における労働災害防止対策説明会
8	ノーリフティングケア研修（リーダー編）・安全運転管理者講習
9	サービス管理責任者等基礎研修・第 46 回全国身体障害者施設協議会研究大会 処遇改善加算等取得セミナー 令和 6 年度栄養・食育マネジメントセミナー（児童福祉施設以外）
10	第 51 回国際福祉機器展&フォーラム・管理者、リーダーのためのステップアップ研修
11	サービス管理責任者等実践研修・第 46 回東北ブロック身体障害者施設職員研修会 地域包括ケア・フォーラム in 青森 2024 ノロウイルス食中毒予防と対策講習会
12	甲種防火管理新規講習 2024 年度東北ブロック身体障害者施設協議会 労働関係法令オンライン説明会 訪問看護オンライン請求セミナー
1	令和 6 年度青森県看護協会 看護管理者連絡会議 サービス管理責任者等専門コース別研修（障害児支援） 令和 6 年度青森県専門コース別研修（任意研修）【児童】 年金委員・健康保険委員地区別研修会
2	サービス管理責任者等専門コース別研修（就労支援） 令和 6 年度青森県障がい者虐待防止・権利擁護研修会 あおりノーリフティングケアフォーラム～管理職編・実践報告会～ 障害者雇用納付金制度事務説明会
3	

(2) 上北地域福祉事業部門

ア. 内部研修

日程	内容	実施事業所
4	接遇・マナーについて 倫理・法令順守・接遇・プライバシー保護・高齢者虐待防止 緊急時の対応について 認知症について	特養 通所 GH
5	2年目職員研修（記録について） 事故防止・高齢者虐待防止、身体拘束廃止について 倫理と法令順守 OJT研修 身体拘束排除・虐待防止について BCP研修	全事業所 特養 居宅 通所 GH
6	2年目職員研修（2回目） 新任職員研修 感染症・食中毒について（BCP） 食中毒 個別機能訓練（機能維持・向上に向けて） 災害時対応について 倫理及び法令順守 食中毒・感染症・倫理・法令遵守について	全事業所 特養 居宅 通所 CH GH
7	新任職員フォローアップ研修 非常災害対策（BCP） 緊急時・事故発生時の対応 心のケア、ハラスメント対策について 食中毒予防 身体拘束排除・虐待防止について	全事業所 特養 居宅 通所 CH GH
8	認知症について BCP事業継続計画・非常災害時の対応 緊急時の救急対応について 倫理及び法令遵守について 事故発生又は再発防止に関する研修 身体拘束排除に関する研修	特養 通所 CH GH
9	個人情報保護とプライバシー 身体拘束排除・虐待防止について 認知症及び認知症ケアについて	居宅 GH CH

10	倫理・法令順守・プライバシー保護 感染症・食中毒について 感染症(ノイウイルス・インフルエンザ)について 身体拘束・虐待防止について 接遇に関する研修	特養 通所 訪看 C H G H
11	感染症について (BCP) 送迎業務・安全運転・非常時緊急対応について 感染症予防 身体拘束排除・虐待防止について	特養 通所 C H G H
12	看取りケアについて 権利擁護・認知症ケア・コミュニケーションについて (意志決定支援への取り組み) 接遇について グループホームの看取りについて考える研修	特養 通所 C H G H
1	新任職員フォローアップ研修 褥創予防のための適切な体位変換と良肢位保持 虐待 腰痛予防・福祉用具・ノーリフティングについて 身体拘束排除・虐待防止について プライバシー保護の取り組みについて	全事業所 特養 居宅 通所 G H C H
2	外国人職員の受け入れについて 事故防止・身体拘束廃止・高齢者虐待防止 認知症 事故防止・リスクマネジメント・身体拘束排除について※感染症予防の為 書類配布 介護現場の事故を防ぐリスクマネジメント 自然災害対策訓練と BCP 見直し 安全運転講習 プライバシー保護の取り組みに関する研修	全事業所 特養 居宅 通所 G H
3	非常災害対策 (BCP) 苦情処理 高齢者の自立支援について (状態別ケア・介護技術・口腔ケア) 事故発生又は再発防止について 身体拘束排除・虐待防止について	特養 居宅 通所 C H G H

イ. 外部研修

日程	研修内容
4	東北町介護支援専門員連絡会
5	青森県介護支援専門員更新研修 東北町地域ケア会議
6	青森県喀痰吸引等研修（第一号、第二号研修） 青森県主任介護支援専門員更新研修 東北町地域密着型連絡会介護支援専門員等合同研修会 東北町高齢者等支援ネットワーク会議 介護食セミナー 東北町地域ケア会議
7	第3回青森県認知症介護実践研修（実践者研修） 介護ロボット・ICT機器展示体験会 日本認知症グループホーム協会青森県支部ステップアップ研修 東北町地域ケア会議 東北町介護支援専門員連絡会 青森県のヤングケアラーを支援するために
8	安全運転管理者等講習 青森県介護支援専門員更新研修（専門課程Ⅰ） 青森県介護支援専門員更新研修（専門課程Ⅱ） 東北町地域ケア会議 TENAオンラインセミナー 生産性向上・業務改善・人材育成
9	介護ICT体験フェア 令和6年度東北ブロック老人福祉施設大会・研究会 第5回青森県認知症介護実践研修（リーダー研修） 東北町介護支援専門員等研修会 令和6年度青森県介護テクノロジートライアル事業 東北町福祉送迎運転者講習会
10	ノロウイルス食中毒予防講習会 東北町介護支援専門員連絡会 東北町地域ケア会議 管理者・リーダーのためのステップアップ研修 令和6年度生活支援体制整備事業研修会 令和6年度青森県介護支援専門員及び介護サービス提供者合同研修

11	令和6年度公益社団法人日本認知症グループホーム協会青森県支部大会及び東北ブロック大会 蘇生を望まない傷病者と地域の救急搬送を考えるシンポジウム 青森県新介護職員応援イベント 令和6年度あおもり介護生産性向上推進セミナー 東北町介護支援専門員研修会
12	東北町地域ケア会議・権利擁護事業合同高齢者権利擁護研修会 令和6年度青森県介護予防支援従事者研修会
1	東北町地域ケア会議及び医療介護関係者研修会 東北町介護支援専門員連絡会 令和6年度青森県認知症対応型サービス事業管理者研修 令和6年度介護支援専門員同行型研修 令和6年度上十三地区老人福祉協会研修会 タイムマネジメント研修 外国人受け入れ担当者セミナー
2	
3	令和6年度第4回長寿社会開発センター研究セミナー 科学的介護情報システム（L I F E）第2回説明会 介護テクノロジーを活用して生産性向上を効果的に進めるためのワンポイントセミナー 東北町地域密着型サービス事業者集団指導

X. その他の取組み報告

1. 苦情等報告

(1) 八戸地域福祉事業部門

ア. 苦情件数 : 0 件

イ. 相談件数 : 0 件

ウ. ご意見

(2) 上北地域福祉事業部門

ア. 苦情件数 : 0 件

イ. 相談件数 : 0 件

ウ. ご意見

2. 地域貢献・地域交流

(1) 八戸地域福祉事業部門

- ・市川地区子育てメイト応援サロン参加
- ・地区開催悠々サロン参加
- ・しあわせネットワーク（青森県社協）

(2) 上北地域福祉事業部門

- ・認知症サポーター養成講座講師派遣（東北小学校、上北小学校、甲地小学校）
- ・認知症サポーターフォローアップ研修、徘徊搜索訓練講師派遣（上北中学校、東北中学校）
- ・東北中学校 3 年生職場体験受け入れ
- ・明の星短期大学 2 年生 介護福祉士実習受け入れ
- ・八戸学院短期大学 1 年生 介護福祉士実習受け入れ

XI. 健康管理報告

1. 職員福利厚生

(1) 健康診断

療護園入居者健康診断 令和 6 年 6 月、11 月

特養入居者健康診断 令和 6 年 6 月

特養・GH・CH入居者 結核検診 令和 6 年 6 月

八戸地域職員健康診断 令和 6 年 9 月

上北地域職員健康診断 令和 6 年 6 月

八戸地域夜勤従事者健康診断 令和 7 年 3 月

上北地域夜勤従事者健康診断 令和 6 年 12 月

(2) 予防接種

療護園・山の家・GH入居者 インフルエンザワクチン予防接種 令和 6 年 11 月

特養・GH・CH入居者 インフルエンザワクチン予防接種 令和 6 年 11 月

八戸地域職員インフルエンザワクチン予防接種 令和 6 年 11 月

上北地域職員インフルエンザワクチン予防接種 令和 6 年 11 月

療護園・山の家・GH入居者 コロナワクチン予防接種 国・県の指針により実施

特養・GH・CH入居者 コロナワクチン予防接種 国・県の指針により実施